

2010/7/28

イノン スヌートセット for S-2000 テスト

■テスト内容

スヌートセットを水中で実際に使用し、その効果や撮影方法を確認する

■使用機材

- ・キヤノン:カメラ EOS Kiss/X + ジリオン:ハウジング ZAP-Kiss/X
- ・キヤノン:レンズ EF-S 60mm F2.8 USM マクロ
- ・イノン:ストロボ S-2000
- ・イノン:スヌートセット for S-2000

■カメラ設定

- ・マニュアル(F8 固定)
- ・ISO200
- ・ホワイトバランス:太陽光

■テスト画像データ■

・被写体スパイダーマン人形の顔のサイズは直径 2cm の 1 円玉ほどです。

まずは、照射角の広い順に画像データを添付します。(F8、1/200、ISO200、WB 太陽光)

被写体までの距離は、ポート先端から約 20cm、ストロボ先端から約 15cm。



S-2000 のみ (拡散板無し)
左右約 105° 上下約 95°



ラバーフード 52 (ショート)
左右約 105° 上下約 95°



ラバーフード 52 (ロング)
左右約 65° 上下約 60°



ラバーフード 52 (ロング)
+ スヌートチューブ 26
+ W40° フィルター・LE
左右約 26° 上下約 24°



ラバーフード 52 (ロング)
+ スヌートチューブ 26
左右約 31° 上下約 19°



ラバーフード 52 (ロング)
+ スヌートチューブ 10
+ W40° フィルター・LE
左右約 16° 上下約 12°



ラバーフード 52 (ロング)
+ スヌートチューブ 10
左右約 22° 上下約 9°

これらの画像では、その差がよくわからない組合せもあるかと思いますが、下段の 3 枚はその効果が見てとれるようになりました。というのも、60mm のレンズで撮影しましたので、水中での画角は約 50° ぐらいとなっており、スヌートの照射角がそれより広い組合せに関しては、その効果が見られなくなりました。

次は、シャッタースピードを変えての青抜き～黒抜きまでの撮影データです。

※全て、ラバーフード 52(ロング)+スヌートチューブ 10にて撮影。絞りF8 固定。



1/6



1/30



1/200



1/6



1/200

青抜きにすると、スヌートの意味があまり感じられませんが、やはり黒抜きで被写体の一部を浮き上がらせるように撮影するのがいいと思います。

では、次も同じようなデータを添付します。



1/4



1/10



1/200

次は照射角の画像比較です。全て、ラバーフード 52(ロング)+スヌートチューブ 10にて撮影。絞りF8 固定。



-0.5 白拡散板 for
S-2000 付き



上下と左右の照射角が異なることから、1枚目のように平面を撮影すると帯状になっています。2枚目はS-2000に拡散板をセットして、スヌート10をつけて撮影すると、フラットになりましたが、特に接写ではそうする意味がないかと思えます。

3枚目はストロボを横にして撮影し、4枚目はストロボを縦にして撮影しました。この写真ではなんとも言えませんが、被写体によってはこの横長の照射角を利用すれば変わった作品が撮れる可能性もありそうです。

では最後に、ストロボを真上から当てたものと、真下から当てたものです。



<まとめ>

実際に使ってみた結論から言うと、「とてもおもしろい！」です。そして、「とても難しい！」です。特に一番照射角を狭くした組合せでは、被写体からストロボを離して撮影すると、少しの照準のズレで、思ったところにストロボ光が当たらないことが多々ありました。ということで、最後の2枚の画像は、スヌートチューブの先端から被写体までの距離を2cmぐらいまで近づけて撮影しました。

ですが、その難しさや、ライティングの幅が広がることによって、同じ被写体でも様々なパターンでの撮影を試してみたくなり、狙ったところに当たるとなんだかガッツポーズをしたくなります。W

今回は、1灯での撮影になりましたが、スヌートを2灯組み合わせて使用するとどんな撮影ができるのかというのも興味がわきます。また、広角レンズなどでの撮影も試してみたいところですが、そういった撮影は実際のフィールドで撮影されている皆様にお任せしたいと思います♪

ちなみに今回は全てマルチパターン測光で撮影しましたが、イノンさんのHPによると、「スポット照明効果でS-2000ストロボのS-TTL自動調光機能を使う場合、カメラ側も中央スポット測光に設定して撮影することをお勧めします。平均測光やマルチパターン測光のままですと、中央部のみ白く飛んだ写真になってしまうことがあります。撮影状況によってはS-TTL自動設定によって適正露出が得られない場合があります。その際はマニュアル調光にてご使用ください。」と注意書きがありますので、その他注意事項も含めてイノンHPをご確認ください。

最後に、このスヌートセットをD-2000やZ-240、他社のストロボにつけることはできません。もちろん工夫したりすれば可能かもしれませんが、基本的にはNGです。唯一S&S「YS-17」はラバーフードがゆるゆるですが、セットできそうな感じでした。ただし、TTLが効くかどうかやその効果があるのかどうかはテストしておりませんのでご了承くださいませ。

※海での作例はイノンホームページに紹介されておりますので、ご参照ください。